

第70回 北海道団体優勝剣道大会 開催要項

- 1 主 催 一般財団法人北海道剣道連盟、北海道新聞社
- 2 主 管 旭川剣道連盟
- 3 後 援 公益財団法人北海道スポーツ協会、旭川市、旭川市教育委員会、公益財団法人旭川スポーツ協会
- 4 日 時 令和 3年 9月 19日(日) 午前 9時00分 開会
- 5 会 場 旭川リアルター夢りんご体育館(旭川市総合体育館)
旭川市花咲町5丁目 電話 0166-54-5411
- 6 参加資格 下記により各剣道連盟単位で編成されたチームであること。ただし、各級とも協議会単位での編成も認めるが、**今年度に限り、各部門(各級)とも連盟1チームとする。なお、B級部門の職域単位の出場チーム数についても1チームとする。**
ただし、主管剣連(旭川剣連)は、各部門とも2チームまでの参加を認める
A～D級は監督1名、選手5名、E級は監督1名、選手3名の編成とする。
(1) A～C級は、下位の段位順にチームを編成する。
ア A級は、六段以上の男子をもって編成し、大将は年齢50歳以上(年齢基準は大会前日とする)の者とする。ただし、やむを得ない場合に限り、五段2名までのチーム編成を認める。
なお、大将は年齢基準を満たしていれば、六段ないし五段でも可とする。
イ B級は、五段以下の男子をもって編成し、職域単位での出場を認める。
ウ C級は、女子をもって編成し、段位は問わない。
(2) D～E級は、若い年齢順にチームを編成する。
ア D級は、60歳以上(年齢基準は大会前日とする)の男子をもって編成し、段位は問わない。
イ E級は、50歳以上(年齢基準は大会前日とする)の女子をもって編成し、段位は問わない。
(3) 2つ以上の級に出場(登録)することは出来ない。
(4) 大学生の出場は認めない。ただし、大学院生、専門学校生の出場は認める。
- 7 試合方法 (1) 各級別の団体試合とする。
(2) トーナメント戦方式により行う。
(3) 試合時間は4分3本勝負とし、勝敗の決しない場合は引分けとする。勝者数、勝本数が同数の場合は代表者戦を行う。代表者戦は4分1本勝負とし、延長は時間を区切り勝敗の決するまで行う。
- 8 試合・審判 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び細則による。審判員は、原則六段以上で構成する。
- 9 表 彰 各級の優勝、準優勝、第3位(2チーム)を表彰する。
- 10 参加料 A～C級は 1チーム 15,000円
D級は 1チーム 10,000円
E級は 1チーム 5,000円
- 11 申込方法 (1) 申込締切 令和 3年 8月 31日(火) まで(期日厳守)
(2) 所属剣道連盟会長が参加団体をとりまとめ、別添申込書により申し込むと共に参加料を納入すること。期限後の申込、参加料の納入のない団体は受け付けない。また、申込み後の取消し及び欠場の場合も返金はしない。なお申込は各剣道連盟事務局を通じて申し込むこと。
(3) 申込先「一般財団法人 北海道剣道連盟事務局」宛
- 12 その他 (1) 出場者は、所属剣道連盟名、職域名等と姓を明記した名札(垂)を着装すること。
(2) 目印(タスキ)は、各自で用意すること。
(3) 団体戦のオーダー表(下記)を各チームで準備し必ず持参すること。
なお、男子は黒書・女子は朱書とする
(4) E級は、先鋒、中堅、大将とし、オーダー表は3名用(52cm)とする。
(5) 主催者で傷害保険に加入するが、これ以上の責任は負いません。

チ ー ム 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将		
						78cm	

第70回 北海道団体優勝剣道大会 申込書

令和 年 月 日

一般財団法人 北海道剣道連盟 様

剣道連盟会長 印

申込区分	級	チーム名	
------	---	------	--

区分	称号	(フリガナ)	生年月日	職業	住 所
	段位	氏 名	年 齢		(電 話)
監督	士	()	. .		〒
	段		歳		(- -)
先鋒	士	()	. .		〒
	段		歳		(- -)
次鋒	士	()	. .		〒
	段		歳		(- -)
中堅	士	()	. .		〒
	段		歳		(- -)
副将	士	()	. .		〒
	段		歳		(- -)
大将	士	()	. .		〒
	段		歳		(- -)

(注 意) 1 申込区分ごとに別業とすること。(C級・E級の女子は朱書きのこと)

2 E級は先鋒、中堅、大将に配置すること。

参加料振込

振込月日	振込金額	振込先金融機関
.	円	ゆうちょ銀行・北洋豊平・道銀行啓